

平成30年第8回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

12月10日（月）午前10時～	1	栗山尚記	議員	（30分）
	2	浅石昌敏	議員	（60分）
	3	中山一男	議員	（60分）
	4	田口裕	議員	（30分）
	5	金澤大輔	議員	（30分）
12月11日（火）午前10時～	6	倉岡誠	議員	（30分）
	7	児玉悦朗	議員	（60分）
	8	吉村アイ	議員	（30分）
	9	兎澤祐一	議員	（60分）
	10	戸田芳孝	議員	（30分）

□質問時間割当表

10:00	10:30	10:40	11:40	13:00	14:00	14:10	14:40	14:50	15:20
12月10日 （月）	栗山尚記 （30分）	休憩 10分間	浅石昌敏 （60分）	休 憩	中山一男 （60分）	休憩 10分間	田口 裕 （30分）	休憩 10分間	金澤大輔 （30分）

10:00	10:30	10:40	11:40	13:00	13:30	13:40	14:40	14:50	15:20
12月11日 （火）	倉岡 誠 （30分）	休憩 10分間	児玉悦朗 （60分）	休 憩	吉村アイ （30分）	休憩 10分間	兎澤祐一 （60分）	休憩 10分間	戸田芳孝 （30分）

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 鹿角の医療環境について					
(1) 分娩取扱機能集約化に伴う新体制や補助制度の現況について			① 10月から開始された分娩取扱機能集約に伴い、新たな支援体制や補助制度が始まったが、現段階での運用・利用状況を伺う。		
(2) 新体制が開始されてからの現段階での反省点や利用者からの要望について			① 新体制が開始されてから間もないが、現段階での運営側としての問題点や気付き、さらには利用者側の現場からの要望にはどのようなものがあり、それらを踏まえて、今後の改善点等は考えられているのか伺う。		
(3) 医師確保対策の現状について			① 最重要課題である医師の確保について、4月から専門の「地域医療推進員」を設け対応に当たっているが、現段階での具体的な活動状況について伺う。		
(4) 医師確保に向けての課題や求められる活動について			① 鹿角が一体となって取り組むべき問題と捉えるが、大変に厳しい中での医師確保活動に当たり、現段階での主たる問題や、推進に当たって我々議員や市民の皆様が協力可能な具体的な活動について伺う。		
2 除雪体制について					
(1) 高齢者や障害者宅前の道路除雪による置き雪について			① 道路除雪によって発生する民家間口前の置き雪の処理に関し、特に独居高齢者や障害者にとっては、処理が大変困難な状況にある。山形で行われている「思いやり除雪」等の事例にならい、除雪オペレーターとの連携による住人の負担軽減対策が必要と考えるが、対応について伺う。		
(2) 置き雪の凍結時における排雪支援について			① 気温の寒暖差により生じた、凍結した置き雪に対しては、手作業では若年者であっても排雪作業が非常に困難である。これらに対して重機での排雪や氷砕き等の支援も多く求められているが、対応について伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3	(3) 雪捨て場の確保について			① 高齢者を初め、排雪作業に当たる市民にとって、少しでも近距離への雪捨て場の確保ができれば作業の軽減ができるとの要望が多く聞かれる。空き家・空き地・農地等の雪捨て場確保について行政が仲介や斡旋ができれば、近距離での雪捨て場確保につながると思うが、考えを伺う。	
	(1) 外国人労働者受け入れについて			① 国は入管法を改正し、来春より外国人労働者の受け入れを積極化しようとしている。詳細についてはまだ未確定な部分が多いが、少子高齢化・人口減少が進む鹿角市にとっては、不足している労働力を確保し、実質生産人口を増やす転換期にもなり得ると思う。加えて、多くの経営者の方々が労働力を求め海外に直接出向いている現状を踏まえると、行政としても行動を起こすタイミングと捉えるが、考えを伺う。	

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 農業問題について (1) 減反政策から新しい制度へ変わった本年度の状況について (2) 農水省米需要の減少幅の変更に対しての対策について (3) 農事組合法人の問題について			① 減反政策廃止により農家に大きな混乱等は生じなかったのか。生産量・販売面・就農者等の状況は、昨年と比較しどのように変化したと捉えているのか伺う。 ① 市としてはこれから来年度の生産調整会議に入と思うが、生産量に変更せず販売強化で進めていくのか、生産量を減らす考えなのか、市の考えを伺う。 また、毎年このような傾向に進むと思われるが、飼料用米・加工米だけではない、米を利用した 6 次産業の掘り起こしと、加工機械導入等について支援が必要と考えるが、市の考えを伺う。 ① 現状、市としても色々と施策を講じているが、多くの集落営農組織には合わなかったり、設備が高額である等の理由から、市の施策に合わせることができないように感じる。もう一步踏み込んだ対策ができないか伺う。		
2 鹿角の医療について (1) 分娩取扱機能を大館市立総合病院へ集約された状況について (2) 全国的に広まる風しん患者の対策について			① かづの厚生病院の分娩取扱機能は、今秋 10 月大館市立総合病院に集約され、その後数名の方が出産している。大館市立総合病院に集約された後、問題等が発生していないのか、その状況を伺う。 また、これから訪れる冬期間の対応について、移動・緊急時の対応等、関係団体を含めて準備は万全なものか伺う。 ① 県の対応が決まった後、鹿角市の対応として助成対象者への周知と医療機関との協力体制について伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3 鹿角市市道維持管理業務について					
(1) 鹿角市市道維持管理業務委託の目的について			① 昨年度までは、市職員のパトロール及び自治会長等からの要望で市道の維持管理・補修が行われてきたが、どのような問題があり、どのような目的でこの業務委託を行ったのか伺う。		
(2) 新たな市道維持管理方法の問題について			① 4 月頃補修した場所が半年経った現在、再度破損した場所、新たな破損場所が目立つ様になり、数カ月たってもそのままの状態になっていて、新たな補修工事作業がほとんど行われていない。アスファルト舗装にあいた穴が、日増しに大きくなって危険な場所も増えてきている。新たな市道維持管理方法の問題点について伺う。		
(3) 今後の市道維持管理方法について			① 材料・人員・工事金額・工事時期等、多数の問題があるが、来年度に向け、予算・業務改善等をどのように見直し、スムーズな補修工事につなげるのか、市の考えを伺う。		
4 世界文化遺産国内推薦候補見送りについて					
(1) 推薦見送り後の市の対応について			① 12 月県議会で佐竹知事が「大変残念だが、この結果を構成資産のさらなる磨き上げのチャンスと受け止め、歩みを緩めることなく、登録の早期実現に向けて取り組んでいく」と知事説明で述べた。鹿角市として、この状況下で新たな事業の取り組み・地域の盛り上げ等、新年度に向けた予算措置を考えているのか伺う。		
(2) ボランティアガイドの対応について			① ボランティアガイドの方から「好きでやっているし時間もあるが、年金暮らしのため、せめて交通費を支給していただきたい」との声もあった。他の観光地のガイドも同様と思うが、ボランティアガイドに交通費の支給はできないか伺う。 また、世界遺産登録に向けたさらなるボランティアガイドの育成はできないか伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

No.3					
順位	2	質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5 災害対策と危機管理について				① 決壊すると農地に甚大な被害が発生する。その他に心配されるのが花輪浄水場の建物も被害を受け	
(1) 米代川堤防決壊時の水道施設の保護対策について				る可能性がある。地形的に見ると、今回の堤防の場所が決壊すると川の流れが変わり、濁流がＪＲ花輪線と米代川堤防の間を通り、花輪浄水場を直撃する。市民の飲料水を守るため、想定外の災害に備え 強固な鉄筋入りコンクリートブロック等で建物・設備を守ることが必要と考えるが、市の考え方を伺う。	
(2) 避難場所の看板設置について				① 避難場所は、各地区ごとに第１避難所・第２避難所・その他の避難場所が指定されているが、避難場所の看板がない所もある。日頃市民が目につきやすい大きな看板の設置と、災害の種類によっては避難場所には使用できないことがわかるような看板の設置が必要と思うが、市の考えを伺う。	
(3) 災害時の避難方法について				① 最近特に問題となっていることに、高齢者の独り暮らし・要介護認定されている方の避難方法がある。各自治会単位で民生委員の協力のもと名簿を策定しているが、具体的に「災害時に誰が・どの様な手段で・移動の自動車などはどうするのか」が決まっていない自治会が多くあると感じる。自主防災組織の強化も必要であるが、細部にわたる、その地区にあった専門家によるマニュアルの作成ができないか伺う。 また、避難情報の中には避難準備情報・避難勧告・避難指示があるが、市民から「いつ避難したら良いのか分からない」という声も聞かれる。災害によっては状況が悪くなってからの避難は逆に危険な場合もある。避難指示をもう少し分かりやすくできないか伺う。	
(4) ブロック塀等撤去支援事業費補助金について				① パトロールの結果、何カ所危険なブロック塀があったのか。さらに今回の追加（12月補正）で全て撤去できるのか伺う。 また、空き家になっていて、市内に住んでいない所有者の危険ブロック塀も撤去できているのか伺う。	

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	中山 一男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	財政問題について			① 地方交付税は減額の傾向にあり、市税も大きな伸びはないと予測される中で、人件費の抑制や行政改革を進め、経常経費の抑制に努めることが必要だろうし、来年度はまた、消費税率の引き上げが予定されている。 このような厳しい財政状況の中で、財政構造の弾力化に向けて、どのような対応をしていくのか伺う。	
2	次期総合戦略について			① 総合戦略は継続実施されるのか。また、継続実施されるとすれば、来年度に計画策定をしなければならないと思うが、そのタイムスケジュールを伺う。	
3	第6次基本構想の改定について			① 次期総合戦略が継続実施されるとすれば、1年早く策定されるが、第7次基本構想との整合性はどのように図っていくのか。また、第7次基本構想策定のタイムスケジュールを伺う。	
4	中心市街地の活性化について			① 今後、中心市街地の活性化に向けてどのように取り組んでいくのか、市の考えを伺う。 また、武蔵野大学がプレゼンテーションをした主な内容と、今後とも継続的なつながりを持つていくのか伺う。	
5	農業振興対策について				
	(1) 雪と温泉熱を利用した野菜づくりについて			① 農家の高齢化や働き手の問題、除雪の経費、施設整備等の経費もかさむ中で、雪と温泉熱を利用した野菜づくりを、企業や農業生産法人、J A等の関係機関と議論を深め検討し、冬場に収入をあげる仕組みを実現してほしいと思うがいかがか。	
	(2) 温泉熱を利用したフルーツの栽培について			① 温泉熱を利用したフルーツづくりを、企業や農業生産法人、J A等で実現に向けて検討してみてはいかがか。	

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	中山 一男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
6	道路網の整備について			① 大きな夢として、長期展望に立ち、将来世代のために、鹿角と大館を結ぶ自動車専用道路、(仮称)鹿角・大館線の整備を県に要望していく考えはないのか伺う。	
7	道の駅おおゆについて			① 道の駅おおゆの誘客にも大きく影響すると思うが、十和田湖観光が閑散期となる冬期間の誘客に向けて、どのように考え、対応しようとしているのか、具体的な計画はあるか伺う。	
	(1) 冬期の誘客について				
	(2) 道の駅おおゆに不足しているものについて			① 少しでも多くの方に立ち寄っていただき、道の駅おおゆそのものを目的地として選んでもらうために不足しているものは何か。開業からこれまでの状況を分析していると思うが考えを伺う。	
	(3) 今後の施設整備について			① 今後の施設整備について伺う。 ・縄文文化を感じさせるものとして、ストーンサークルにちなみ、大小さまざまな石を使った遊具を整備してはどうか。 ・大湯温泉はもとより、周辺の市内の温泉をもっと紹介してはどうか。 ・足湯の種類を家族用やカップル用、手湯、ペット湯など充実させてはどうか。 ・定期市場を4と9の付く日以外にも営業できないか。 開業後、日も浅いことから次の整備は考えていないだろうと思うが、観光施設には賞味期限があると思うため、ぜひ年次計画で少しずつ充実してほしいと思うが、市長の考えを伺う。	
8	小中学校へのエアコンの設置について			① 今夏の酷暑を踏まえた子どもたちの「熱中症予防」のため、国の財政支援を受けて来年夏までに小中学校の普通教室にエアコンを設置する考えはないか伺う。 また、本市の小中学校にエアコンを設置する場合、箇所数と経費はどれほどになるのか伺う。	
9	ウォーキングコースの整備について			① 長野県では、63市町村で256コース整備されているが、本市でも今ある資源を整備しながら、健康寿命延伸の一環として「ウォーキングコース」を整備してはどうか伺う。	

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	田口 裕	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	ユネスコ世界遺産を生かした観光振興について			① ユネスコ世界遺産に登録となっている大日堂舞楽、花輪祭の屋台行事（花輪ばやし）、そして国内の文化遺産登録候補となっている大湯環状列石が十分生かし切れていない。近隣の関連遺産とのツアー企画や積極的な連携による観光の振興策を図れないか伺う。	
2	観光二次交通の対策とJR花輪線の活用について			① 観光を目玉とする鹿角市の二次交通の必要性が求められて久しいが、現状をどのように捉え、今後どのように取り組んでいく考えか伺う。 ② 市長は現在花輪線利用促進協議会の会長をしているが、活動状況と今後どのように生かしていく考えか伺う。 ③ 東北新幹線盛岡駅から、十和田八幡平国立公園の窓口として、観光路線としての取り組みを強化できないか伺う。	
3	wifi環境の整備について			① インターネットや情報ツールとしてのSNSが主流となっている現在、若い人たちや外国人観光客への対応にwifi環境の整備が必要となっている。現在、鹿角市内の観光拠点や公共施設、民間の状況はどのようなになっているのか。そして、今後どのように整備する考えか伺う。	
4	案内看板、標識の見直し・新設について			① 鹿角は観光案内表示が少ないとの専門家の指摘もある。外国語併記を含めて、看板標識の見直し・新設をすべきと思うが、考えを伺う。	
5	まちの案内人など観光ガイドの養成について			① 現在の活動状況はどのようなになっているのか伺う。 ② 登録はしていても活動できない人も多いため、再度ガイド養成に取り組めないか伺う。	

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	田口 裕	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
6 空き家改修による民泊事業について			① 外国人観光客の増加に伴い、田舎の風景や体験を求める人たちも増えているといわれている。空き家を改修しての民泊事業を進められないか伺う。		
7 米代川堤防市道の通行止めの早期解除について			① 8月の大雨で被害のあった浅利佐助商店前の堤防市道が通行止めとなっている。この道路は花輪市街地の朝夕の混雑もあって、通勤の主要な道路となっており、早期に片側通行等の対応をすべきと思うが、考えと取り組みについて伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 鹿角市ふるさと・キャリア教育について			① この取り組みは、子供たちに地域の「職業観・勤労観を育む学習プログラム」として、鹿角にどんな職種や働く場があるのか、どんな人たちが働いているのかを、地域に関わることによって、段階的に郷土愛を身に付けてもらいたいという意図の取り組みと捉えているが、現在市内に1,500ほどある事業所のうち、このプログラムに賛同・協力している事業所は167件とほぼ9分の1程度と少なすぎると感じる。これからの担い手である子供たちを育てるのは、地域全体の役割だと考えるが、地域と事業所の魅力を知って働いて欲しいのであれば、市を挙げて市内全事業所に協力を要請するべきと考えるが、市長の考えを伺う。 ② 鹿角では、職場体験やインターンシップの取り組みは高校生までか。他市では大学生向けに交通費や宿泊費などの支援を用意し、市外からの人材確保や人材流出を防ぐ取り組みとして助成しているところもある。また、インターンシップ実習生を募集するための活動に対する経費として、企業側への助成をしている自治体もある。企業独自でやっているところもあるかもしれないが、例えば、企業側への支援として、鹿角市内のインターン受け入れ企業を冊子にまとめ、大学側にお問い合わせすれば、「鹿角市」と「市内の企業」のPRと、「学校との協力連携」の3つのメリットが生まれると思うが、取り組みを考える余地はあるか伺う。		
2 市民ポイントについて			① 9月定例会で、市民ポイントについて質問させていただき、共働きの範囲から逸脱しない程度で考えていきたいとの答弁をいただいた。まだ答えを求めるには早いとは思いますが、今現在、検討材料の中に入っているのか伺う。 ② 手法としては、介護支援ボランティア事業と同じようなやり方がやりやすいのではないかと思います。財源確保としてふるさと納税が使えたらいいのではと考えるが、「市民ポイントの取り組み」として、ふるさと納税の使途の項目に加えることはできないか。もしくは、もう1つのふるさと納税として今注目を集めている、「ふるさと納税クラウドファンディング」を活用するのはどうか。考えを伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分	No.2
質 問 事 項				質 問 要 旨		
3 地域おこし協力隊の募集の仕方について				③ 新しいことを形作るとするのは難しいことだとは思いますが、市民ポイントが根付いている奈良市の事例はとても参考になると思う。研修先として職員を派遣して、事例を学んで持ち帰って鹿角に反映させることも意味があることと考えるが、検討していただく余地はあるか伺う。		
				① 以前も協力隊の募集に関して、市の課題と直結した人材を募集したらいいのではと質問したが、移住はこれまでのコンシェルジュの方々のおかげでかなりの成果につながっていると思う。そこで、次のステップとして、新たな課題に取り組む協力隊員を、募集ではなく、実績のある方をヘッドハンティングするような、依頼という形で交渉ができないものか。本市では昨年、地域課題の取り組みを紹介している雑誌「ソトコト」の編集長である指出一正氏を講師に迎えてワークショップを開催している。 「ソトコト」にはあらゆる地域課題に挑戦している実践者が紹介されている。そのつてを利用して、本市の課題解決に直結できそうな人材に直接コンタクトをとってお願いするといったような形がとれないものか。例えば、空き店舗再生に実績のある方も実例と効果として紹介されている。そういった方を協力隊として招くことができれば、市として大きな力になると考えるが、そういった考えはあるか伺う。		
4 出会い事業について				① 毎年予算の見直しがある中で、一番費用対効果で削られやすいこの事業だが、県としても「ベビーウェーブアクション」というプログラムで、市を通して関心のある市民を集めてプロジェクトチームを作り県全体で盛り上げようという動きもあり、本市も県内では3例目としてプロジェクトチームが立ち上がっている。少子化対策と人口増に向けて、県内では他にない、県と民間と自治体の連携ができかけているので、もっと市としての後押しとアピールがあってもいいと考える。すぐに結果に結びつくものではない出会い事業に対しては、長期的な視点で予算を維持してもらいたいと思うが、考えを伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5 市民アンケートについて				① 市民アンケートの実施結果報告書の最後に、自由意見として多くの意見が寄せられている。これは市民の市政に対するストレートな意見だと思うが、これを市民の目に届くように、一部抜粋でも広報にページを設けて載せることはできないか。意見に対する市側の回答も載せれば、双方向の関係が築けて、市民の市政への関心も高まるのではないかと思うが、取り組む考えはあるか伺う。	

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 高齢者福祉について（尾去沢デイサービスセンターの廃止と介護予防の取り組みについて） （1）尾去沢デイサービスセンターの廃止について （2）介護予防の取り組みについて				① 尾去沢デイサービスセンターの廃止という市の方針が発表された。尾去沢地区の高齢者が集う貴重な場として、旧尾去沢第一保育園を改修し、平成11年9月から利用されてきたが現在の利用状況を伺う。 ② 廃止という方針に至った経緯とその理由は何か伺う。 ③ 現在、利用されている人の処遇について、何か検討しているのか伺う。 ④ デイサービスセンターの廃止後の跡地の利用については、どのように考えているのか伺う。	
2 公営合葬墓について				① デイサービスセンターの利用者に限らず、今後、介護予防の取り組みはますます重要になってくると考えている。住民主体の介護予防の取り組みとして平成29年度からシルバーリハビリ体操の普及を図っているが、市としてどのような考えで介護予防を進めていくのか伺う。 ① 今、少子高齢化が進み、未婚率の上昇などもあり、これまでの個別墓石の維持に陰りが見え始めている。墓を継ぐ人がいない、子や孫に墓を守ってもらうのは大変、さらには、一人暮らしで身寄りがいないなど、その要因は数えきれない。 さらには、子や孫がそばにいないなど、家族だけで先祖代々の墓を守ってゆくのが難しくなっている。 この地域では、お寺と檀家関係は根強いものがあり個別に墓を建てるのが当たり前であり、他人と一緒に埋葬されることなどありえないとの意識はまだ根強く抵抗感もあることは実態である。しかし、秋田市の例に見る要望の多さに驚いているところである。	

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3 森林環境税（仮称）、森林環境譲与税（仮称）について				昨今、地方自治体で合葬墓の建設がされるとともに、建設の検討に入るという自治体も次々と現れてきている。例えばもし建設するとしても、調査段階から供用開始まで 4～5 年の時間を要するものとする。今必要ないということではなく、将来的に必要なとの見地から検討していく必要があると考えるが、所見を伺う。 ① 経営・管理が行われていない私有林人工林を対象に自治体が管理運営するために、来年度から前倒しで森林環境譲与税が交付金として充当される。本年度中に計画を立てなければならないと思うが、どう取り組んでいくのか伺う。 ② 今後、自ら関わりを持つことになる、所有者不明の森林は管内にどれだけ存在するのか。その管理運営は、どのようにするのか伺う	

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	7	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分	No.1
質 問 事 項				質 問 要 旨		
1 鹿角市まち・ひと・しごと創生 総合戦略について				① 平成 29 年度までの進捗状況と計画どおりにならなかった部分の原因と改善策を伺う。		
2 本市の医療体制について				① 本市においては病床数や医師や看護師の適正な人数に対して、現状の人数はどれほどの差があるのか。また、どのような改善策があるのか伺う。 ② 分娩取扱機能集約後の分娩患者の人数及び交通費や宿泊費などの助成金の利用状況など現状を伺う。 ③ 「テレフォン病院 24」の利用状況について、昨年より利用件数が少ない原因と利用数を上げていく方策について伺う。 ④ かづの厚生病院の事業損益と黒字化への見込み、市からの補助金額の推移について伺う。 ⑤ かづの厚生病院での受診患者数は、受診患者数が減少しているのに対して治療費が増加しているように見えるが、現状とその原因をどのように分析しているのか伺う。 ⑥ 第6次総合計画後期基本計画の中で地域医療体制の充実の項目があるが、どのような施策を想定しているのか。また、今後本市における医療の充実をどのように構築していくのか伺う。		
3 空き校舎の有効活用について				① 空き校舎の活用の計画はあるのか。そして、この空き校舎をどのように維持管理、有効活用、あるいは解体などを計画しているのか伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	7	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4	大湯環状列石周辺の発掘調査計画について	①	大湯環状列石周辺の発掘調査の計画は予定されているのか伺う。		
		②	出土文化財管理センターを一般公開するイベントができないか伺う。		
5	指定管理者制度について	①	本市と指定管理契約を締結している個人、組合、会社等の数はいくつか、また、指定管理者制度の運用について、効果と改善点をどのように考えているか伺う。		
6	本市施策の情報発信方法としてのSNSの活用について	①	今以上に積極的にSNSを活用することが望ましいと考えるが、本市のSNS発信状況について伺う。		
7	ブランド作物栽培面積増加策について	①	ブランド作物の栽培面積増加策について伺う。		
8	耕作放棄地対策について	①	耕作放棄地対策としての多面的機能支払交付金事業の効果も抑制策として大きいと思うが、この事業に参加していない地区に対し、どのように参加を促しているのか伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	8	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 世界遺産登録に向けた大湯環状列石の取り組みの強化について (1) 7月に推薦候補に選定されたことについて (2) 関係自治体との連携について (3) 交通アクセスについて (4) ボランティアガイドについて (5) 世界遺産登録後の対策について (6) ストーンサークル館周辺の景観について				① 今年度の推薦は見送りとなったが、選定されたことに対し今後の取り組みの強化についてどのように考えているか伺う。 ① 関係する16自治体との交流と連携の取り組みの強化についてどのように行うか伺う。 ① 観光客だけではなく、より多くの市民に大湯環状列石を見学してもらうために、冬期間を除いた土・日・祝日のシャトルバスの運行ができないか伺う。 ① 世界遺産に登録されると、現状のガイドの体制だと不安だとの声とその対策について伺う。また、ガイドの方の負担に対し、交通費を出す考えはないか伺う。 ① 釜石市の橋野鉄鉱山では登録後の来場者数が7倍となっている。登録後の対策について伺う。 ① ストーンサークル館の壁画が色あせてきたが、修復するのはいつか。また、閉店状態のプレハブの店は現状のままでいいのか伺う。	

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	8	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
2 産業遺産である史跡尾去沢鉱山の観光拠点としての取り組みの強化について (1) 観光客数と中学生のボランティアガイドについて (2) 交通アクセスについて				① 過去5年間の観光客数の推移と、中学生のボランティアガイドは今後も継続していくのか伺う。 ① 以前は運行していた尾去沢鉱山行きのバス運行を、冬期間を除いた土・日・祝日だけでも復活できないか。	
3 鹿角市の全国的な認知度向上について (1) 認知度の順位が上がらないことについて (2) 平成31年度の目標順位について				① 平成27年度から平成29年度の3年間で順位が下がっている要因について伺う。 ① 目標順位520位達成のために取り組んだこと、そして今後計画している取り組みについて伺う。	

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	9	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 災害対策について					
(1) 避難行動の情報伝達について			① 避難勧告、避難指示に対して行動を起こそうとしないことに対してどのように捉えているか考えを伺う。		
(2) 避難指示・勧告に対する理解について			① 市民の中には「避難指示」、「避難勧告」等を理解できていない方が多いと感じるが、市民に対してもっと理解していただくことが大切と考える。避難する人が少なければ「避難命令」という言葉も検討すべきと考えるがいかがか。		
(3) 防災マップについて			① 防災マップをもっと市民の理解に活用すべきと考えるが所見を伺う。		
(4) 地域と連携して避難組織を考えられないか			① 「正常性バイアス」が逃げ遅れを招く要因になっているが、足腰の弱い近所の高齢者と一緒に避難すると決めておけば行動が早くなると考えるが所見を伺う。		
(5) 避難所での運営訓練について			① 先日の豪雨の際に避難した方から、避難所で誰が責任者なのか分からなかったとの相談があった。責任者の明示、明確化など、実際の運営の仕方が徹底されていないのではと懸念されるが、今後の対応策について伺う。		
2 観光危機管理について					
(1) 観光旅行者に対する避難計画について			① 地域防災計画に観光旅行者の避難に対する計画は定められているか伺う。		
(2) 外国人観光客に対する避難計画について			① 外国人観光客に対する災害時の情報伝達に関する事項や避難所の運営、関係機関や団体との連携について伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	9	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(3) 災害時における宿泊施設との協定について			① 観光客が宿泊する施設の災害時における協定も大切と考えるが所見を伺う。		
(4) 観光関連施設の耐震化について			① 観光関連施設の耐震化も大変に重要と考える。新耐震基準以前の建物もあると考えられるが、対策はどのようなになっているか伺う。		
3 全国「100 万人訪問・調査」について			公明党が今年4月から全国100万人に行った訪問調査アンケート（防災・減災、子育て、介護、中小企業について実施）		
(1) 子育てについて					
ア 教育費の負担について			① 教育費の負担に不安を抱えている親御さんが多いが、幼児教育の無償化や奨学金のさらなる充実を図り、子育て世代への支援を拡充すべきと考えるが所見を伺う。		
イ 国民健康保険のペナルティの一部廃止について			① 「子どもの医療費の助成」に対して、国民健康保険の国庫負担金を減額するペナルティの一部廃止による財源を少子化対策に充てることができないか伺う。		
ウ 子育て世代包括支援センターについて			① 出産や子育てに関する相談など、必要な支援をワンストップで受けられる「子育て世代包括支援センター」や「産後ケア事業」など、どのようなになっているか伺う。		
(2) 介護について					
ア 今後の介護人材の不足や介護者の人数の見通し及び対策について			① 2025年には団塊の世代が75歳を超え、医療や介護を必要とする方に対して介護人材が不足することが予想される。通院することが困難な患者が増えることから、医師の自宅定期訪問診察、認知症の増加などによる今後の対策について伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	9	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
イ 介護家族の相談先について			① 実際に介護が必要になった場合の相談先の不安が多く寄せられた。もっと市民に周知する必要があると考えるが所見を伺う。		
ウ 認知症について			① 認知症は早期発見が大切であるが、症状など基準がはっきりせず対応に困る方もいる。現場の悩みに対応した支援等について今後の対策を伺う。		
エ 高齢者虐待について			① 施設における高齢者虐待をたびたびテレビ等で耳にする。介護職員に対する対策とともに各施設の対策に対する状況把握などどのようなになっているか伺う。		
(3) 中小企業について					
ア 支援制度について			① 中小企業に対する資金繰りや税制サービス相談支援、経営力向上に向けたサポートなどの支援の周知が必要と考えるが所見を伺う。		
イ 伴走型支援について			① 支援策の情報入手や補助金申請などをワンストップで行うプラットフォームの構築を進め、支援員が直接事業者の元に足を運び、相談に応じる伴走型支援の強化に取り組むべきと考えるが所見を伺う。		
ウ 事業継承について			① 中小企業の経営者の高齢化に伴う後継者不足も待ったなしであるが、今後の対策を伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	10	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 成年後見制度について (1) 利用状況について (2) 「成年後見制度利用促進基本計画」の策定について (3) 制度の充実について			① 判断能力が不十分な方々の財産や権利を保護し、生活支援を目的とした「成年後見制度」が創設されているが、本市の利用状況について伺う。		
			① 国は「成年後見制度」の利用促進をはかるため、平成 28 年 5 月に「成年後見制度利用促進法」を施行し、翌年 3 月には、制度の課題を整理した「成年後見制度基本計画」を作成した。この計画を踏まえ、市町村においても「成年後見制度利用促進基本計画」を策定するよう努めるものとされているが、本市の考えを伺う。		
			① 本市の「成年後見制度」について、弁護士などの専門職後見人に代わる「市民後見人」の養成並びに利用促進を図るための後見センター（仮称）を設立するなど、制度の充実が必要と考えるが、市長の見解を伺う。		
2 まちづくりについて (1) 「鹿角市都市計画マスタープラン」の見直しについて (2) 十和田南駅周辺地域の活性化について			① 本市の「都市計画マスタープラン」について、策定から既に 10 年以上経過しており、今年度から 2 カ年計画で見直しをする方針が示されている。これまでの取り組みと概括的な評価並びに課題について伺う。		
			② 「鹿角市都市計画マスタープラン」を見直しするに当たり、重視すべき点は何か、また、今後どのようなスケジュールで進めていくのか伺う。		
			① 十和田南駅はかつて栄えた時代の名残をとどめており、周辺エリアには注目すべき観光名所や伝統文化などが存在している。地域の活気を取り戻すために、何かしらの戦略を打ち出せないか伺う。		

平成30年第8回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	10	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(3) 通学路の安全確保について				① 十和田南駅を利用し高校へ通う生徒は、最短ルート（JR線路沿い～ガード下～市道）を通行しているが、途中、道幅が狭く、街灯が少ないなど危険を伴う箇所がある。通学路の安全確保について伺う。	
(4) 「四の岱市営住宅」の老朽化対策について				① 四の岱市営住宅は経年劣化が進んでおり、安全性の確保だけでなく、居住性の向上も必要である。早急に改修すべきであるが、建てかえを含めて対策をどのように考えているのか伺う。	